



那須塩原市議会議員

山本はるひの

議会からこんにちは



106号
2024.2.22

那須塩原市の未来を、インクルーシブな視点で考える

72歳になって、あと10年は元気で生きていたいという目標を持ちました。母は80歳を過ぎても優雅にスキーをしていたので、私もそこまではと密かに思っています。かなうでしょうか。そこで、長いこと避けてきた健診を受けることに決めました。

何か不都合が見つかったら、その時はその時で対処すればよいことだと覚悟したところです。人生に限りがあることは百も承知の上で、夢を持ってあきらめないで生きようと、でも胃カメラは怖い…。

3月定例会議日程

- 2/22 再開・議案説明・即決議案採決
- 2/26 会派代表質問(5人)
- 2/27~29 市政一般質問(12人)
- 3/4 議案質疑
- 3/5~8 常任委員会審査(議場など)
- 3/14 議員全員協議会
 予算常任委員会(全体会)
- 3/15 委員長報告 質疑・討論・採決・散会

議場で傍聴ができます
詳細は議事課まで
0287-62-7181




山本はるひの市政一般質問

2月27日(火)11時15分~12時15分

質問時間は答弁含めて60分 市のHPから生中継します

質問 1. 「那須塩原市子ども・子育て夢基金」の活用について

子育て支援の充実に必要な事業の財源確保を目的にした「那須塩原市子ども・子育て夢基金」は、2020年9月に創設されています。この基金へのふるさと納税の寄附金額は2022年が約5,800万円で、2023年はそれを上回る金額になるのではないかと思います。

私は、障がいのある子ども、そうでない子ども、みんないっしょになって楽しく遊べる遊具のある公園や屋内広場、いわゆる「インクルーシブ*公園」が必要だと思っています。この思いをもって、夢基金を使つての事業について質問します。



質問 2. 市内在住外国人へのサポートについて

那須塩原市には現在2,700人を超える外国人の方々暮らししています。中には日本語がわからず日常生活に支障をきたし、ごみの出し方などでトラブルになるケースも見聞きます。

そこで日本語教育へのサポートと小中学校での日本語指導の現状や課題について、さらに、外国人居住者への常設の生活相談窓口設置の必要性について質問します。(2ページにつづく)

*インクルーシブ:障がいのあるなし、国籍、年齢、性別、人種に関係なく、その違いを認め合つて、それぞれの個性が尊重されながら共生していくことを意味します。



市内在住外国人 出身国は30以上 那須塩原市でともに暮らすために

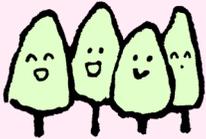


国内の在日外国人数はこの10年で約1.5倍に増加、本市も増加傾向にあり、中国・ブラジル・ベトナム・フィリピン出身者が半数以上を占めています。外国人の方々も、市内に住んでいれば那須塩原市民のひとりです。安心して暮らすためには、日本語はもちろん、生活をしていく上での様々なサポートが必要です。

日本語が読めない、相談する場所がわからない

私は那須塩原市国際交流協会の会員になって30年経ちますが、協会が主催する日本語教室は一か所で週1回、教える人数も足りず、ニーズを満たしていないと感じています。近所にフィリピンからの家族が住んでいた時、学校からの「お知らせ」が読めず困っていたことがありました。保育園に入れたいけれど、どこに相談したらよいか教えてほしいと電話がきたこともあります。身近に相談できる場所があればなあ、と思うこともしばしばです。

外国籍の小中学生へのサポート



市内5つの小学校に専任の先生がいますが、外国籍の子どものいるすべての学校にいるわけではありません。小学校の先生に聞いたところ、最初の1年間だけでも日本語を教える先生がついていてくれると、上達が早く助かるとのこと。急に入学してくる子どももいて、市の対応は難しいと思いますので、ボランティアや学生をうまく活用することも、一案だと考えます。

「日本語教育」充実と「外国人相談窓口」設置は急務

市では生活ガイドブックや外国人向け便利マップを作製し、ホームページで英語やポルトガル語、中国語などで読むことができます。しかし、直接相談などをできる場所はほとんどありません。かつて那須塩原駅前に設置されていた「外国人地域支援センター」はサロンのような雰囲気でしたが、閉鎖されてしまいました。今は「外国人生活相談窓口」が西那須野庁舎で週1回金曜日に開かれているだけです。子育て・医療・防災・地域とのかかわり方など、様々な困りごとを気軽にいつでも相談できる窓口を、すぐにでも作るべきです。また、翻訳機などの情報端末も積極的に取り入れていくことで、安心して暮らすための一助になると思います。



西那須野庁舎の生活相談窓口



「外国人生活ガイドブック」には、ごみの出し方や切符の買い方で載っています



多くの国の人たちが那須塩原市で暮らしています！

中国・ブラジル・ベトナム・フィリピン・ネパール・タイ・インドネシア・インド・韓国・北朝鮮・ペルー・パラグアイ・台湾・ミャンマー・スリランカ・アメリカ・バングラディッシュ・パキスタン・ポリビア・イギリス・マレーシア・オーストラリア・アルゼンチン・イラン・フランス・モンゴル・ロシア・ニュージーランド など

プラスチックを「ごみ」から「資源」へ ～4つの公民館で集めています～

先日、話題になっているエコナステーションに行ってきました。設置されているのは市内4か所。私が訪れたのは稲村公民館です。右の写真を見ていただくとわかりますが、館内にあって「ごみ箱」「ごみ置き場」には見えません！

実はこれ、那須塩原市の事業の一環で、「可燃ごみとして燃やしている」プラスチックのリサイクル実証事業です。現在、15ある公民館のうち厚崎公民館・稲村公民館・大山公民館・ハロープラザの4館で集めています。それぞれの公民館地区に住んでいる方が利用できます。



稲村公民館ロビーのおしゃれで
きれいな「エコナステーション」

利用方法

- ◇プラスチックのラベルやシールは、できるだけはかしてください
- ◇汚れがついているとリサイクルできないので、洗い流してください
- ◇「汚れや臭いの強いものは可燃ごみ」になります

◎リサイクル対象		可燃ごみ
<p>製品プラスチック ペットボトルキャップ</p> <p>CDケース・歯ブラシ ハンガー・プラケース・タッパー おもちゃ・定規・プランター など</p>	<p>一部の容器包装プラスチック</p> <p>袋・ラベル・トレイ以外で、 プラマーク+PP/PE の記載あり ※ウェットティッシュ容器・ハンドソープ容器 などの一部製品 (PP:ポリプロピレン PE:ポリエチレン)</p> <p>PP PE</p>	<p>汚れたプラスチック レジ袋・お菓子の包み紙 もやしの袋・容器ラベル 食品トレイ・卵パック など ※プラマークがあっても PS/PET 記載が あるもの、アルファベット記載なしは不可</p>

リサイクル内容については、2023/12/12 時点の情報です。

例えば「豆腐のパック」はリサイクルマークがフタの部分にあって、はがすとわからなくなります。容器包装プラスチックは種類も多く、「プラ」マークを探すのも一苦勞ですが、できる限り協力していきたいと考えています。

市は、公民館での回収状況やリサイクルの結果を踏まえて、今年度中にどのようなプラスチックを回収するのか、ある程度の方向性を決めていくとのことです。

詳しくは、回収している4つの公民館にカラーのチラシが置いてありますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

〈問い合わせ〉 市民生活部廃棄物対策課(4月1日から環境戦略部サーキュラーエコノミー課)
電話:0287-62-7301 メールアドレス:haikibutsutaisaku@city.nasushiobara.tochigi.jp



議員の似顔絵と好きな言葉

このたび、議場傍聴席までの通路両脇の壁に議員26人の似顔絵が並びました。絵心ある市役所職員が顔写真を見て書いたとか。似ているかなあ!! 添えた言葉は、フランスの哲学者パスカルの「考えることこそ人間に与えられた偉大な力」です。似顔絵のイメージに合わせました。ぜひ市役所4階に足をお運びください。



「那須チーズピクニック」

- ★2024年3月23日(土)10時～15時
- ★那須塩原駅前西口広場【入場無料】
- ・チーズとチーズを使った料理の販売
- ・ワインの販売 ・手作りチーズ講座
- ・チーズフォンデュ教室 ・農畜産物販売
- ・やぎさんとふれあい ・やぎさんとお散歩



「PACIFIC BRASS」米国空軍金管五重奏

- ★2024年4月4日(木)14時～
- ★那須野が原ハーモニーホール(交流ホール)
- ★チケット(要予約 下記 TEL・FAX まで)
- 高校生以下無料・一般席 1,000円
- 主催:特定非営利活動法人桜和-OWA
- TEL 0287-48-7359/FAX 0287-35-4708
- 協賛:黒磯ロータリークラブ・割烹石山
- 後援:那須塩原市教育委員会・下野新聞



六本木の美術館でキース・ヘリング展を観てきました。「アートはみんなのために」という信念で1980年代にニューヨークを中心に活躍、人類の未来と希望を子どもたちに託して31歳で死去した画家です。彼がアートを通じて発信しつつけた社会への不平等や偏見に対するメッセージは、思いがけず今回の一般質問とつながりました。ポップな絵からは想像できなかった一面が見られたことは今回の収穫です。



今年は桜の開花が早いとの予報、春が待ち遠しいです♪



会報107号は2024年6月7日(金)
議会再開日に新聞折り込みで発行予定です

山本はるひの活動記録

- 11/24～12/13 12月定例会議
- 12/5 国際交流協会三役会
- 12/7 国際交流協会理事会
- 12/9 市川房枝記念会連続講座 7
- 12/11 団体打ち合わせ 出前講座打ち合わせ
- 12/15 箒根学園見学
- 12/17 女性議員意見交換
- 12/18 とちぎつばさの会定例会
- 12/21 三島中学校出前講座
- 1/7 黒磯地区「20歳の集い」
- 1/11 栃木県地方議会女性議員連盟 研修会
- 1/13 市川房枝記念会連続講座 8
- 1/16 国際交流協会打ち合わせ
- 1/18 議員全員協議会 互助会臨時総会
国際交流協会三役会
那須塩原市商工会黒磯支部新年会
- 1/19 議員研修
- 1/20 日本語教室新年会(三島公民館)
- 1/21 協働のまちづくり補助金プレゼンテーション
- 1/22～ 1/23 議員セミナー(大津市国際文化研修所)
- 1/24 子ども未来部レクチャー
- 1/25 国際交流協会理事会
企画部市民協働推進課意見交換
- 1/27 社会福祉大会&人権フェスタ合同大会
- 1/30 市民の方と意見交換
- 1/31 国際交流協会「ゆかりさんとおしゃべりサロン」
- 2/2 議員全員協議会
- 2/5 市政一般質問通告
- 2/9 一人会派への報告 議員全員協議会
- 2/10 市川房枝記念会連続講座 9
- 2/13 日本語教室(東那須野公民館)
- 2/14 国際交流協会「ゆかりさんとおしゃべりサロン」
国際交流協会三役会
- 2/17 会報106号入稿
- 2/18 「消費生活と環境展」
オーストリア大使館共催「ピアノコンサート」
- 2/19 市政一般質問について意見交換
- 2/21 国際交流協会理事会
- 2/22 会報106号新聞折り込みで発行
3月定例会議再開 福祉教育常任委員会

編集・発行 山本はるひと元気いっぱい市民の会
〒325-0037 栃木県那須塩原市美原町 4-815
hirara1025@yahoo.co.jp
http://blog.livedoor.jp/cafeharuhi/

